



平成21年3月30日

各 位

会社名 ケンコーマヨネーズ株式会社
代表者名 代表取締役 炭井 孝志
(JQ・コード番号2915)
問合せ先 取締役 奥田 洋
電話番号 03-5317-1111

業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ

平成20年11月12日に公表いたしました平成21年3月期通期の連結業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。なお個別業績予想の修正はありません。また、併せて特別損失の計上についてお知らせいたします。

1. 平成21年3月期通期 連結業績予想数値の修正 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	54,500	800	800	400
今回修正予想 (B)	54,500	800	800	150
増減額 (B - A)	0	0	0	250
増減率 (%)	0.0	0.0	0.0	62.5
(ご参考) 前年同期実績 (平成20年3月期)	53,075	1,606	1,529	710

2. 業績予想の修正理由

売上高、営業利益、経常利益につきましては、予想通り推移していく見通しであります。当期純利益につきましては、下記の3. 特別損失の計上において、詳細をお知らせいたしますが、減損損失の計上が約2億6百万円見込まれており、また最近の株式市場等の動向より当社保有の有価証券において評価損の発生が約3千万円見込まれているため、当期純利益予想を修正することといたしました。

なお配当予想につきましては従来どおり11円としております。

上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

3. 特別損失の計上

当社グループにおきましては、来期を初年度とする新中期経営計画を策定中であり、収益水準の回復と新たな成長を目標としております。本日（平成21年3月30日）発表いたしました「業務提携に関するお知らせ」において、お知らせいたしました通り「JAふくおか八女との業務提携は、その成長戦略の一環であります。具体的には生産拠点の一部を集約化することによりコスト競争力の強化を図るとともに、「JAふくおか八女が持つ農産物に関するノウハウやブランド等を活用することによりサラダ、総菜類の商品開発力及び販売力の強化を目指すものであります。

今回の事業集約化にともない、稼働率の低下が見込まれる生産拠点については、財務の健全性を確保するとともに将来に費用負担を生じさせないためにも当期で減損損失を約2億6百万円計上することといたしました。減損損失の計上による今後の財務諸表へ与える影響としましては、当期末において約2億6百万円の総資産の圧縮が図れることと翌期以降は償却費負担の軽減効果が長期間にわたり見込まれております。新中期経営計画に基づき収益力の強化を目指すとともに財務体質の一層の健全化に努めて参ります。

以 上